兼六園の雪吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため、毎年、雪吊りを実施しています。雪吊りは北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり作業を行います。

記

1　作業開始日時　　１１月１日（日）　午前９時から

2　作業開始樹木

「唐崎松（からさきのまつ）」

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、５本の芯柱が立てられ、総数約８００本の縄で枝を吊ります。

※なお、当日雨天の場合は、樹高の低い木から作業を開始します。その場合、唐崎松の雪吊りは、２日（月）午前８時を予定（雨天順延有）しています。

3　兼六園の雪吊りの概要

(1)種類と本数

・リンゴ吊り　　５０　本　（唐崎松、巣籠（すごも）り松ほか）
・幹吊り　　５９　本　（根上松、播州松ほか）
・その他　　約７００ 箇所　（ツツジほか）

(2)使用材料等

・わら縄　　約４，０００ｋｇ（径６㎜及び８㎜の２種類を使用）
・芯柱　　アテ丸太、真竹

(3)延べ作業人数　　約５００人
（１１月１日から、庭師７名、造園業者６名にて実施）

(4)作業終了時期　　１２月中旬（予定）